

第5回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会会議録

- 日時 平成29年4月28日（金）午後3時
- 場所 遠軽町役場 3階 第3・4会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容

1 開会

進行：伊藤会長

2 報告

説明：地域拠点施設準備室今井

岩見通南2丁目の用地取得について

説明要旨
<ul style="list-style-type: none">・ 報告に入る前に、検討協議会委員の皆様にご挨拶を申し上げます。 <p>以前からこの検討協議会でも意見が出ていた、岩見通南2丁目のイト電商事（株）の建物と敷地の件について、補償の算定結果を考慮するとともに、これまで北見方面公安委員会と協議を重ねてきたが、イト電商事（株）の建物に影響が出ないように、岩見通の道路整備を行うことに決定したので、イト電商事（株）の店舗については、移転しないということをご理解いただきたい。</p>

（1）部会の設置について

説明要旨
<p>（（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会における部会の設置について）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 資料1について読み上げながら説明。・ 1のこれまでの主な検討状況について、検討協議会では、昨年12月からこれまで4回の会議を行い、主に次の3項目について、基本的な内容をまとめ、町民センターの建設に当たって最も重要な事項がまとまってきたところである。・ 2の部会の設置目的について、（仮称）えんがる町民センターが中心市街地に新たなにぎわいや人と人との交流を創出し、音楽を中心とした芸術・文化活動の拠点となるためには、関係団体や住民の意見を十分に踏まえた上で、施設設備及び管理運営方法等の充実を図ることが大切となり、検討協議会でこれまでに検討してきた、町民センターの利用目的やメインホールの規模などの3項目を基本として、施設を実際に利用する団体や個人の視点から、より具体的な検討を行うため、施設部会と管理部会を設置して、その検討内容を基本・実施設計及び管理運営方針に反映するものである。・ 3の部会による検討内容について、施設部会で検討する内容としては、施設の利用目的を考慮して、記載している項目に係る機能などの検討を行っていただき、必要な場合は、近隣の文化施設の視察等についても実施するものである。 <p>ボルダリングに関する情報提供として、遠軽高校の畑野先生が自宅に大規模なボルダリング施設を設置されており、また、遠軽町体育協会から福路の温水プールに子どもたちが使える程度の簡易なボルダリングの設備を設置したいという希望があり、設置時期は未定</p>

だが、それらの利用状況等を見ながら、検討していく必要があると考えます。

管理部会について、施設の利用目的を考慮し、記載している項目に係る内容の検討を行っていただき、管理運営方針を作成する際の基本とするものである。

- ・ 次回の会議からそれぞれの部会に分かれて会議を行うこととし、委員の希望を本日取りまとめて、所属する部会を決定する。委員の人数は17名だが、伊藤会長には両方の部会、太田アドバイザーには管理部会に所属していただき、残りの16名については、各部会8名で割り振られるのが理想である。

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	何か意見があれば、よろしく申し上げます。
大西委員	管理部会の中に色々な項目がありますが、ソフトの開発や文化事業の補助制度の検討は入らないのでしょうか。
事務局	その点は入ってくることになり、部会での検討事項となります。
伊藤会長	他に意見が無ければ、ここで各部会の振り分けを行いますので、どちらの部会を希望するかお聞きします。

(2) 所属する部会について

発言者	内容
	委員聞き取り及び調整 【施設部会】 横田委員、本間委員、秋田委員、橋口委員、高橋委員、平間委員、高桑委員、佐藤委員 【管理部会】 宮崎委員、村上委員、本田委員、藤江委員、井上委員、平野委員、大西委員、清水川委員
伊藤会長	ご協力ありがとうございました。

3 議題

説明：地域拠点施設準備室今井

メインホールの規模等について

資料 大ホール客席検討図

説明要旨
(事務局) ・ メインホールの規模等については、前回の会議で、座席の間隔を十分に確保した上で、600席程度のホールとするということで、委員の皆様のご承認をいただいたところですが、本日配布している大ホール客席検討図については、これまでいただいた意見などをもとに、コンサルで作図したものである。 ・ 前回配布した図面との大きな変更点としては、ホール後方の鑑賞室の前にあった立見席を削除し、座席の幅を520mmから既製品としては最大の540mmとしている。両サイドの座席も1列が12席あったが、2席減らして10席、車椅子スペースについても、

両サイドに4席ずつあったものを2席ずつ減らして、全体で4席にしている。

- ステージの間口や舞台袖の大きさは前回と同じ寸法だが、全体のボリュームは、縦横とも1m程度小さくしている。
- ホールの容積については、800席相当の容積を確保できるものと考えている。吹奏楽やダンスなどで利用する場合でも、十分な広さが確保されており、逆に、聞く側にとっても、視認性や快適性などが十分に配慮された設計になっている。
- 先日、遠軽町議会の各常任委員会にも、この図面を提示したところである。

(コンサルタント)

- 皆様が関心のある椅子の幅について、図面には幅と書いているが、正確には間隔である。席の間隔が54cmということで理解いただきたい。座面としては手すりを除いて49cmであり、これまでに視察したホールよりかなり広めとなっている。
- 客席の内訳は、全部で611席用意しており、その内、車椅子のスペースについては4席としている。これは、北海道福祉のまちづくり条例で定められている最低限の数字であり、これから高齢化に向けて4席で良いかという部分でも、ご意見をいただきたい。
- ホールの空容積に関しては、特に変更点無く、吹奏楽の使用においても十分であり、1席あたり10m³程度を確保している。

(事務局)

- メインホールの規模は、今後の施設部会でこの図面を基本に進めていくこととなるが、本日は皆様に意見をいただきたい。
- 施設全体のランニングコストについては、施設部会の進み具合にもよるが、施設の全体像が固まってきた段階で、示していきたいと考えている。
- 設計に係るスケジュールについては若干遅れており、5月、6月と早いペースで協議を進め、7月頃には全体の平面図をまとめていきたいと考えているので、ご協力願いたい。

【意見】

発言者	内容
高橋委員	<p>前回は出席できず申し訳ありませんでした。議事録を読ませていただきましたが、吹奏楽の関係で、600で席数が大体決まったということには異論はないのですが、大会の招致も考えており、1席でも多く、なるべく人が集えるようなものを要望していきたいと思っています。遠軽高校の演奏会では800人が入るので、座席は600程度でも、立見席含めて800程度あれば、多少、大きな大会も対応できます。基本理念を壊さない程度で、もし可能であれば、620、630と広げていただければと思います。</p> <p>800という数字にはこだわらないということで、600という数字を覆すわけではありませんが、少しでも人が他からも集まれるようなホールにしたいと考えているので、前回発言できなかったということもあり、それも踏まえて意見させていただきました。</p>
大西委員	<p>この600席の全体は、通常の600席よりも大きいわけですが、左右の通路に椅子を置くことは、消防法上、可能なのでしょうか。</p>

コンサル	こういった不特定多数の方が集まる施設などでは、消防法の括りがありまして、万が一、有事の際には速やかに避難ができるように、通路の幅等が規定されており、この図面では、そういった余裕は見えていません。
大西委員	椅子は置けないということですが、100や150くらいは可動席で確保できるようなイメージだったと思うのですが。
高橋委員	そのつもりでいました。800にはこだわりませんが、なるべく人が集まれるような対応ができるホールとなれば良いと思います。
コンサル	検討協議会の他にも、町の検討委員会や地域拠点施設準備室での打合せの中でも色々な議論をしており、ご意見のあった件についても、何らかの配慮ができれば良いという話はしており、皆様、そのような理解はされているのかなと思っています。
大西委員	現状の図面では、できないということですね。
コンサル	椅子を持ってきて、そこに置くということではできません。ただ、計画の段階で柱の間隔も決まっているわけではなく、多少の余裕を見るなど、可能な範囲はあると思います。
大西委員	消防法上、スペースがあれば可能なのでしょうか。
コンサル	現実の運用としては難しいと思います。ただ、ご指摘の趣旨については理解いたします。
本田委員	高橋先生の気持ちはわかります。ただ、私も委員になってから、色々な方と話をしましたが、吹奏楽の1年に1回や何年かに1回のために大きなものを造るのはどうなのかという意見が多く、その意見をこの場で言ってきたつもりです。吹奏楽のこれまでの素晴らしい活躍はわかっていますが、吹奏楽の人口が遠軽の人口の何割なのでしょう。すごく引かかっている部分です。
伊藤会長	話の後戻りはしないでください。せっかくここまで来ているわけです。
本田委員	高橋先生も800席にはこだわらないという中で、それだけのキャパは欲しいと希望されていますが、全体的な話ではこの程度で収まれば助かるなと思います。
大西委員	固定席は600が良いと思います。あとは余裕として、たくさんの方が来た時に、可動席で対応できるような形で、空間面積や消防法に則って、検討していただけたらということだと思います。高橋先生としても音響空間が広い方が良いという意見ではないのでしょうか。
伊藤会長	できるだけ後戻りしないよう、前を向いた建設的な意見をお願いします。また、それぞれの部会で細かな部分を検討していくこともありますので、前向きな姿勢をお願いします。
高桑委員	前回の図面では立見席がありましたが、今回はないということで、鑑賞室の前の空間はどういったスペースなのでしょう。
コンサル	壁が2枚ありますが、鑑賞室ということで窓がついています。
高桑委員	後ろの通路の幅はどれくらいでしょうか。
コンサル	1.1mとなっています。
高桑委員	そこは立見席とならないのでしょうか。

コンサル	立って見ることは可能です。
高桑委員	吹奏楽の演奏会などで、お客さんが増えてきた時に、鑑賞室に入って子ども達が騒ぐような状態はないと思いますので、50人でも60人でも立って鑑賞することができれば、立見席は設けなくても良いのではないのでしょうか。その方が左右に立たれるよりも良いと思います。
アドバイザー	この図面の後ろの通路が1.1mしかありませんが、狭くてこれではダメです。例えば、映像や音響などの作業はここに机を置いて行いますので、最低でも2mなくてはなりません。ビデオを撮るといふこともあります。また、通路が2mあると、そこにパイプ椅子を置けば50席くらい確保でき、普段は使わなくても吹奏楽の時などに対応できます。ですから、ここは1.1mから2m程度に広げてもらわないと仕事が成り立ちません。 それから、椅子について、横幅54cmというのはすごく広くて良いと思いますが、座面の前後が61cmというのは狭いです。例えば美幌は67cmで、今度札幌にできるホールも66.5cmとなっています。横が広くてゆったりしていても、座面が狭いかなと思います。その点も、もう一度検討いただければと思います。 また、舞台の搬入口はどちらになるのでしょうか。
コンサル	上手になります。
アドバイザー	そうすると、反響板をどう組むかで変わってきます。例えば、天井に吊られると非常に困りますし、奥に置いておいて出すとなると、今のままでは奥行きが少ない舞台になってしまいます。それと綱元を電動にするのかによっても2mくらい変わってきます。電動はコストもかかるし、その点も早めに決めていかなければなりません。
コンサル	アドバイザーからのご意見については、前回は触れていまして、音響反射板をどうするかはランニングコストに関わってきますので、準備室ともよく話をしておいて考えていくところです。 また、指摘のあった椅子の座面については、図面が修正されておらず申し訳ありませんが、実際は70.5cmあります。お詫びして訂正いたします。
アドバイザー	それであれば全然問題ありません。北海道で一番良いと思います。
本間委員	そうなった場合、椅子の前後の間隔が1mというのはどうなるのですか。
コンサル	連動してくることになるので、詰めさせていただきます。
高桑委員	舞台袖にピアノを置けるスペースは取れるのでしょうか。演奏会の時など、ピアノを下げられる場所があると、使い勝手が良いと思います。演劇でも袖が広いと良いと思います。
アドバイザー	この図面の袖の広さであれば、600席のホールとしてはすごく良いと思います。演劇をやるにしても十分です。
伊藤会長	他に意見はありませんか。図面を見て、ピアノを置く場所だとか、スタッフの部屋、トイレの場所などの問題もあると思います。
本田委員	鑑賞室の入口はどちらになるのでしょうか。

コンサル	図面が切れていますが、ホワイエ側からになります。
平野委員	図面が切れているとのことですが、楽屋はステージの後ろ側にあるのでしょうか。
コンサル	この図面については、客席と舞台前だけとなっているということで、ご理解いただきたいと思います。楽屋やトイレ、ピアノ庫を含めて、色々な使い勝手を検討しています。この図面では楽屋は後ろ側としていますが、楽屋として使わない時の利用法や、配置についても打合せをさせてもらいながら、全体像を固めていきたいと考えています。
伊藤会長	来月から部会が始まりますが、その時には大まかな部分が出てきますので、それまで少々お待ちください。また、アドバイザーから意見のあった音響板については、どうなのでしょう。
コンサル	こちらから検討資料を準備室に出したいと考えています。その上で、皆様の意見を取り入れていきたいと思っています。
伊藤会長	今後は専門的に部会で検討を進めていくこととなります。
事務局	メインホールの規模については、この図面を基に進めていきますが、消防法の関係で立見席ができるかどうかということや、反響板やステージの大きさについてなど、施設部会で協議した内容を管理部会にもお知らせいたします。 また、資料の最後には、広報えんがる5月号に掲載される検討協議会だよりの第2号を添付しています。内容は第3回と第4回の会議内容と、3月11日に開催した施設見学についてとなっています。次回は7月号に第3号として掲載予定です。住民に知らせた方がよい事項などの意見がありましたら、準備室までご連絡願います。

4 次回の日程について

説明要旨	
	<ul style="list-style-type: none"> 施設部会は、5月15日（月）と25日（木）を予定している。 管理部会は、5月26日（金）を予定している。 アドバイザーを含めて話をした中で、進行が遅れ気味ということで、スピード上げる必要があり、どんどん前に進んで協議をしていきたいと思うので、ご協力願いたい。

【意見】

発言者	内容
本間委員	施設部会の日程について、検討協議会ではこれまで第4金曜日を基本としてきまして、部会も6月以降決まった曜日で組んでいただければ、事前に予定も立てやすいのですが、どうでしょうか。
事務局	進み具合にもよりますが、まずは、5月15日に6月の日程を調整したいと思います。 また、時間帯について、午後3時からとしています。都合が悪いということであれば、午後6時からの開催なども可能ですので、1回目の部会を開いてみて、次回以降の日程を決めていきたいと思っています。
宮崎副会長	検討協議会と部会との関係性はどのように考えるのでしょうか。部会を何回

	かやってから検討協議会をやるなど、スケジュールを教えてくださいと思います。
事務局	現状は5月までのスケジュールのみとなっていて、全体会議も開催したいと思うのですが、6月は議会の絡みもありますので、日程調整については、後日、相談させていただきたいと思います。また、基本的には部会を数回開催した上で、全体会議で報告といった流れを考えていますが、部会での協議内容は他の部会にも速やかにお知らせしていくように予定しています。

5 現地視察

説明要旨	
	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）えんがる町民センター建設位置図を現地視察の資料として配布するので、それを見ながら確認いただきたい。 コミュニティ広場駐車場を起点に時計回りで建設予定地周辺、遠軽交通前⇒遠軽駅前⇒駅前通り⇒旧遠軽中央病院前⇒岩見通商店街⇒イト電商事(株)前⇒旧ふぁーらいと前の順路で、資料と見比べながら配置等を確認した中で、視察を行った。

6 閉会

（午後4時50分閉会）

第5回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会出席者名簿

区分	氏名	団体名等	備考
委員	本間 克明	遠軽商工会議所	
委員	横田 昌弘	遠軽町文化連盟	
委員	秋田 博	えんがる商工会	
委員	宮崎 良公	遠軽町自治会連絡協議会	副会長
委員	村上 武志	えんがる町観光協会	
委員	橋口 理教	遠軽青年会議所	
委員	本田 ちづ子	ダンス教室 ami:φアミ	
委員	藤江 昭	遠軽町社会福祉協議会	
委員	井上 幸次	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	高橋 利明	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	平野 由美子	フラスタジオ・UEDA	
委員	平間 喜弘	遠軽がんばろう太鼓同好会	
委員	伊藤 榮三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	会長
委員	大西 定信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	清水川 一儀	一般公募、連合遠軽	
委員	高桑 健次	一般公募、元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	佐藤 登	一般公募	
アドバイザー	太田 晃正	有限会社時円プランニング代表取締役	
オブザーバー	小野寺 正彦	民生部住民生活課長	
オブザーバー	小野寺 宏	経済部建設課主幹	
オブザーバー	井上 隆広	経済部建設課主幹	
オブザーバー	菊地 隆	経済部商工観光課長	
オブザーバー	落合一実	経済部水道課長	
オブザーバー	堀嶋 英俊	教育部社会教育課長	
事務局	加藤 俊之	総務部長	
事務局	斉藤 隆雄	総務部地域拠点施設準備室長	
事務局	今井 昌幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
事務局	安西 一樹	総務部地域拠点施設準備室主任	
事務局	中川原 英明	総務部地域拠点施設準備室	
コンサルタント	株式会社石本建築事務所札幌支所		3名
コンサルタント	日本都市設計株式会社		1名
計	33名		